

全国都市監査委員会表彰

永年表彰 あいかわ よしかず 相川 良和氏



全国都市監査委員会総会が8月30日、青森市で開催され、市代表監査委員の相川良和氏が永年表彰を受けられました。

相川氏は、これまで甲賀市代表監査委員として多年にわたり監査業務に精励され、本市行財政事務の適正・効率的な運営と地方自治の振興に寄与されました。

8月14日未明の激しい豪雨の影響で、土砂災害が大津市石山外畑町で発生しました。市は、滋賀県市長会の要請を受け、被災した同町の復旧支援のため、8月18日と19日の二日間、職員延べ19名を派遣しました。

現地では、他の自治体職員や、ボランティアと力を合わせ、スコップや鍬を使い被災された地域の家屋や道路・水路などにたまった土砂や泥の除去作業を行いました。



▲大津市で土砂の除去作業を行う市職員

大津市へ復旧支援職員を派遣

甲賀市戦没者追悼式

市戦没者追悼式が8月26日、あいこう市民ホールで開催されました。遺族や関係者など約300名が出席し、亡くなられた方々に追悼の意を捧げるとともに、恒久平和への誓いを新たにしました。

式典では、中嶋市長が慰霊の言葉を述べ、続いて参列者が追悼の思いと平和への祈りを込めて献花を行いました。また、広島平和記念事業に参加した市内の小学生を代表し、5名の児童が作文朗読を行い、感想などを発表しました。



▲平和への思いをつづった作文を朗読する児童

「平和を願うパネル展」を開催

「平和を願うパネル展」を8月2日から15日にかけてかふか生涯学習館で開催し、多くの方にご覧いただきました。

会場には、滋賀県や甲賀市に関連のある戦争の資料が数多く展示され、訪れた方は、地域の歴史としての戦争を知り、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて感じる機会となりました。

永遠の平和を願って

— 広島平和記念式典に市内小学生22名が参加 —



▲市内各小学校とデイサービスセンターすこやか荘から託された折り鶴を原爆の子の像に捧げる

今年で戦後67年が経過しました。

現在、私たちが暮らしている社会の平和と繁栄は、多くの戦没者の尊い犠牲の上に成り立っているということを忘れてはなりません。

市では毎年、市民の皆さんとともに過去を振り返り、平和への誓いを新たにす取り組みを行っています。そのひとつとして、次代を担う若い人

■世界中が平和になるために

日本には核兵器はありません。でも国によってはまだまだ数えきれないほどの核兵器があることを知りました。

私は語り部さんが言っていたように、将来絶対に核兵器がなくなり戦争がなく平和な未来があってほしいです。そのために今、私たちにできることを考えました。私は、この二日間を通して、将来、平和な未来があるために、戦争のおそろしさ、命の大切さをたくさんの人に知ってもらい、一人ひとりの心に平和が生まれるように、家族、友達、そして一人ひとりを大切にしていきたいと思いました。

■幸せな毎日に感謝して

戦争のころと今を比べると、たくさんおいしい物が食べられたり、友達と遊べたり、学校で勉強ができたりするのあたり前です。しかし、決してあたり前と思っては、いけないと思います。幸せな毎日に感謝しようと思

います。

平和記念公園にある「平和の灯」は、点灯されてから、四十八年間、燃え続けています。平和の灯は、世界中から核兵器がなくなり、平和になった時、灯が消えると教えてもらいました。

ぼくは、灯が一日でも早く消えたらいいと思います。そして、世界中が平和になるため、少しでも役に立つ人になりたいと思いました。一生けん命に勉強し、生きた

たちに平和の尊さを学んでもらうため、小学6年生を対象に広島平和記念事業を実施しています。今年も22名の児童が8月5日、6日に広島を訪れ、広島平和記念式典へ参列するなど平和学習を行いました。

ここでは、参加した児童の「平和への思い」を、感想文(抜粋)から紹介します。

■私たちの世代の役割

私は原爆ドームに行った時、原爆が落とされ、生き残った人や亡くなられた方々が、どんなに苦しめられたか、そこへ行って見るだけで、原爆が落とされた当時、どんなにおそろしくて、悲惨だったかと思うと、とてもこわくなりました。原爆は、六十七年前の人たちだけではなく、その時生き残った人や、その後生まれた人たちまでも苦しめています。

戦争は、良いものは何一つ残さず、苦しさ悲しさ、おそろしさしか残さないものだと思います。この悲惨な体験を語り部さんとして、語り伝える方たちが、高齢のため少なくなってきたと聞きました。私は、私たちの世代がしっかりと、戦争の話を聞き、平和な時代をこの先もずっと続けていかないといけないと思います。

■平和について考えた事

実に被爆された語り部さんのお話を聞いて、平和についてよく考えました。

一つ目は、地球上から原爆がなくなる事です。今はまだ地球上には、原爆がたくさんあります。原爆をなくすためには、日本が世界各国にたのまなければいけないと思います。日本の気持ちが世界に伝わって、初めて原爆が地球上からなくなると思います。

二つ目は、ぼく達国民が、広島であった事を思い続け

ることです。ぼくは、広島で学んだ事、経験した事を、家族や友達に話していきたいです。そうする事によって、だんだん広がっていく、みんなが広島であった事を一生忘れないと思います。そして、「広島で起こった事は、二度と起きて欲しくない」「戦争は、絶対にしません」「みんなが言えるようになって、世界は平和になると思います」。

■語り部さんのお話を聞いて

語り部さんからは人の命の尊さなどを学びました。それに原爆の被害にあった後もどれだけ苦しいのかそんなことを語り部さんからも学びました。

語り部さんの言葉は一つ一つ心に残りました。一つ一つの言葉は私たちが知っているが出来てなかった言葉でした。家族・友達を大切に人が世界に広がると世界は平和になる、そんな語り部さんの思いを忘れず、これからも生きていきたいと思

甲賀市プレミアム商品券

有効期限

平成24年
9月30日(日)
まで

愛♡こうカード
使用有効期限
せまる!

ご購入の皆さん もう使われましたか?
有効期限を過ぎると使用できません。

※なお、期限後の返金や換金には一切応じられませんので、ご了承ください。

問い合わせ 甲賀市商工会 (甲賀市水口町水口5577-2)
☎62-1676 ☎63-1052